

# 日本蜘蛛学会第47回大会

会期：2015年8月22日（土）・23日（日）

会場：京都女子大学C号館C305、309教室

〒605-8501 京都市東山区今熊野北日吉町35

## 日 程

### 8月22日（土）

受付	9:00～
開会	9:50
一般講演（口頭発表）	10:00～12:00
写真撮影	12:00～12:10
昼食	12:10～13:00
一般講演（口頭発表）	13:00～14:00
ポスター発表	14:05～14:45
シンポジウム	14:50～16:50
奨励賞受賞講演	17:00～17:30
総会	17:30～18:20
懇親会	18:30～20:30

### 8月23日（日）

受付	9:00～
一般講演（口頭発表）	9:30～12:15
閉会	12:20

#### 役員会

8月21日（金）京都女子大学S校舎S218教室

編集委員会 13:30～14:30

評議員会 14:30～16:00

自然保護委員会 16:30～17:30

## 大会案内

### 受付

- ・ 受付は会場付近のエレベーターホールに設置します。
- ・ 当日参加も可能です（大会参加費一般3000円、学生2000円）。懇親会の当日参加は、余裕がある場合のみ可能です。ご相談ください（懇親会費一般5000円、学生4000円）。
- ・ 懇親会参加者の名札にはマークをつけますので、受付時にご確認ください。

### 一般講演（口頭発表）（C305教室）

- ・ 講演時間は15分です。発表12分、質疑応答3分を目安にしてください。10分で1鈴、12分で2鈴、15分で3鈴を鳴らします。3鈴が鳴りましたら直ちに講演を終えてください。
- ・ 講演用のファイルはPowerPoint形式でご用意ください。ファイルはUSBメモリー、CD-RまたはDVD-Rでご持参いただき、午前に発表の方は開始時刻まで、午後に発表の方は昼食終了までに、会場の発表用パソコンにコピーし、適正に映ることを確認してください。
- ・ 講演時の機材操作は各自でお願いいたします。

- ・ 手持ち機材を利用することも可能です。VGA接続用アダプターを用意し、開始時刻までに接続テストをお願いします。念のため、USBメモリ等でPowerPointファイルもお持ちください。

## ポスター発表（C309教室）

- ・ 縦210cm、横90cmのポスターボードを用意します。受付後直ちにポスターを掲示してください。押しピン等は事務局で用意します。
- ・ 初日の14:05～14:45がポスターセッションの時間です。奇数番号の方は14:05～14:25まで、偶数番号の方は14:25～14:45までポスター前で説明をお願いします。
- ・ ポスターは大会終了時まで（早く帰られる方はお帰りの際まで）ご掲示ください。

## シンポジウム（C305教室）

- ・ 講演時間は20分です。15分で1鈴、18分で2鈴、20分で3鈴を鳴らします。また、趣旨説明に10分、コメントおよび総合討論として30分を予定しています。

## 懇親会

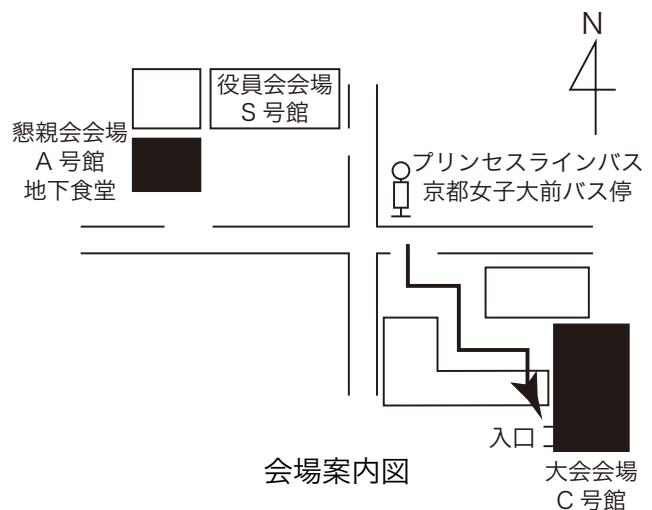
- ・ 8月22日（土）18:30からA号館地下食堂にて懇親会を行います。懇親会会場は、大会会場から歩いて5分ほどの距離にあります。総会終了後にスタッフが皆さんを誘導します。

## 昼食

- ・ 8月22日（土）の昼食として、お弁当（要予約）を用意します。23日（日）は用意しません。

## 会場までの交通

- ・ JR京都駅・阪急河原町駅・京阪七条駅からプリンセスラインバスの利用が便利です。
- ・ 懇親会終了時にはプリンセスラインバスの運行は終わっています。市バス・タクシーなどのご利用をお願いします。
- ・ 大会サイト（<http://www.arachnology.jp/asj47/>）で詳細をご覧ください。
- ・ 駐車場はわずかしかありません。できる限り公共交通機関をお使いください。



## 宿泊

- ・ 各自でご手配をお願いいたします。宿は会場近辺または京都駅・四条通周辺に多くあります。
- ・ このところ、京都市内およびその周辺では、ホテルなど宿泊施設の予約がとりにくくなっています。参加予定の方はできる限り早めに宿泊先を確保してください。

## その他

- ・ キャンパス内は禁煙です。
- ・ 事前に相談のうえ、ポスター会場で文献展示が可能です。事務局では場所のみ提供します。

# 8月22日（土）

9:00 開場・受付開始

9:50 開会

## 一般講演

座長 馬場友希

10:00 O-1 田中一裕（宮城学院女子大・一般教育）  
ゲジの歩行活動リズム

10:15 O-2 井原 庸（一般財団法人 広島県環境保健協会）  
ヤミサラグモの交尾行動と性選択

10:30 O-3 中田兼介（京都女子大学）  
ギンメッキゴミグモにおける垂体脱落の機能と脱落が生じる条件

10:45 O-4 ○繁宮悠介<sup>1</sup>・中田兼介<sup>2</sup>（<sup>1</sup>長崎総科大, <sup>2</sup>京女大）  
ギンメッキゴミグモの飼育装置の改良と体色遺伝性の検証

座長 新海 明

11:00 O-5 ○高須賀圭三・前藤薫（神戸大・院・農・昆虫多様性）  
クモ外部寄生性クモヒメバチ幼虫の健全クモへの人為的移植実験

11:15 O-6 吉田 哉（山形県立博物館）  
日本産のオオヒメグモ属について

11:30 O-7 ○入江照雄<sup>1</sup>・免田隆大<sup>2</sup>（<sup>1</sup>[熊本市], <sup>2</sup>熊本県立宇土高校）  
阿蘇溶岩洞のクモ・多足類とその由来

11:45 O-8 千木良 芳範（[うるま市]）  
オキナワナガイボグモの観察から

12:00～12:10 写真撮影

12:10～13:00 昼食

座長 加村隆英

13:00 O-9 ○鶴崎展巨・岸田紀子・石田龍平（鳥取大・地域）  
丹後山地とその周辺におけるイラカザトウムシとオオナミザトウムシの核型の地理的分化

13:15 O-10 ○小野 展嗣<sup>1</sup>・Xin Xu<sup>2</sup>・Matjaz Kuntner<sup>3</sup>・Daiqin Li<sup>4</sup> ( <sup>1</sup>国立科博／九大・地球社会, <sup>2</sup>Hubei Univ.Natn, <sup>3</sup>Slovenian Acad. Sci., <sup>4</sup>Univ. Singapore)

キムラグモは日本固有：分子系統解析によるハラフシグモ類の再検討

13:30 O-11 ○奥村賢一<sup>1</sup>・野稻充<sup>2</sup>・大庭伸也<sup>2</sup> ( <sup>1</sup>県立長崎鶴洋高, <sup>2</sup>長崎大教育)  
分子系統に基づくヤチグモ類分類の補完と再構築

13:45 O-12 ○谷川明男<sup>1</sup>・新海 明<sup>2</sup> ( <sup>1</sup>東大・農・生物多様性, <sup>2</sup>日能研)  
ウス・オウギ・マネキの系統関係の推定

### 14:05～14:45 ポスター発表

(奇数番号は14:05～14:25、偶数番号は14:25～14:45)

### ポスター発表タイトル一覧

P-1 ○鶴崎展巨・小川弘展 (鳥取大・地域)

愛媛県におけるイラカザトウムシ (クモガタ綱ザトウムシ目) の染色体数の地理的分化

P-2 ○河野暢明<sup>1</sup>・中村浩之<sup>2</sup>・伊藤雄介<sup>2</sup>・富田勝<sup>1</sup>・荒川和晴<sup>1</sup> ( <sup>1</sup>慶大・先端生命研, <sup>2</sup>スパイバー(株))

クモ類大規模遺伝子発現量解析に向けたサンプル調整法の検証

P-3 ○石黒亘・DeMar Taylor (筑波大院・生命環境)

エクダイステロイドによるクサグモ *Agelena silvatica* の幼若脱皮の制御

P-4 ○藤原正幸<sup>1</sup>・中村浩之<sup>2</sup>・富田勝<sup>1</sup>・荒川和晴<sup>1</sup> ( <sup>1</sup>慶大・先端生命研, <sup>2</sup>スパイバー(株))

ジョロウグモの牽引糸タンパク質の解析

P-5 関根幹夫 (奈良県)

奈良県でコガネグモは減少しているのか？

P-6 小野 展嗣 (国立科博／九大・地球社会)

Arachnidaの和名に関する放談

P-7 池田博明 (日本ハエトリグモ研究センター)

アシナガグモの足場糸は少ない

14:50～16:50

## シンポジウム

### 「クモ研究における分子系統情報の利用：形態情報ではみえなかったこと」

14:50 趣旨説明 企画者：谷川明男（東大・農・生物多様性）

15:00 S-1 谷川明男（東大・農・生物多様性）  
クモ目内の系統分類：さらば円網グモ類

15:20 S-2 鶴崎展巨（鳥取大・地域）  
分子系統解析で激変したザトウムシの系統認識と分類：カワザトウムシ科の再編と「マメザトウムシ上科」の終焉

15:40 S-3 ○馬場友希<sup>1</sup>・井原 庸<sup>2</sup>（<sup>1</sup>国立研究開発法人 農業環境技術研究所, <sup>2</sup>広島県環境保健協会）  
分子系統解析で解き明かす日本産ヤミサラグモ類（Aranea: Linyphiidae）の地理的分化プロセスと多様性

16:00 S-4 松本吏樹郎（大阪市立自然史博物館）  
クモヒメバチのたどった道～分子情報からみた寄主利用と寄生様式の進化

16:20 総合討論

17:00～17:30

## 奨励賞授賞式・受賞講演

受賞者：山崎健史（首都大・理工）  
「アリグモ属の系統分類とアリ擬態」

17:30～18:20 総会

18:30～20:30 懇親会

# 8月23日（日）

9:00 開場・受付開始

## 一般講演

座長 高須賀圭三

9:30 O-13 ○宮澤光博<sup>1</sup>・片山詔久<sup>2</sup>（<sup>1</sup>農業生物資源研, <sup>2</sup>名古屋市大）  
クモの糸（牽引糸）とカイコの糸の分子構造の違い

- 9:45 O-14 ○片山 詔久<sup>1</sup>・前田 拓見<sup>1</sup>・矢部 寛延<sup>1</sup>・宮澤 光博<sup>2</sup> ( <sup>1</sup>名市大院・システム自然, <sup>2</sup>農業生物資源研)  
 ジョロウグモのクモ糸の蛋白質分子構造と横糸粘球成分に関する赤外分光
- 10:00 O-15 ○荒川和晴<sup>1</sup>・河野暢明<sup>1</sup>・藤原正幸<sup>1</sup>・中村浩之<sup>2</sup>・伊藤雄介<sup>2</sup>・富田勝<sup>1</sup> ( <sup>1</sup>慶大・先端生命研, <sup>2</sup>スパイバー (株) )  
 クモ類の網羅的シーケンシング
- 10:15 O-16 ○原口岳<sup>1</sup>・陀安一郎<sup>2</sup> ( <sup>1</sup>森林総合研究所, <sup>2</sup>総合地球環境学研究所)  
 森林における円網造網性クモのエサ資源利用に影響を及ぼす要因の検討ー $\Delta^{14}\text{C}$ 値の測定による解明ー

座長 田中一裕

- 10:30 O-17 ○馬場友希・楠本良延・田中幸一 (国立研究開発法人農業環境技術研究所)  
 耕作放棄地のクモ相：植生遷移と土壤水分条件との関係
- 10:45 O-18 ○田中幸一・馬場友希・楠本良延 (農業環境技術研究所)  
 水田におけるコモリグモ科2種の個体数の地理的傾向
- 11:00 O-19 相知紀史 (平戸市立平戸中学校)  
 地中性のクモの好む環境の違い ～ワスレナグモは乾燥した生息地にも適応した～
- 11:15 O-20 船曳和代 (兵庫県姫路市)  
 桜並木に残されたジョロウグモ *Nephila clavata* の卵のう分布

座長 中田兼介

- 11:30 O-21 鈴木佑弥 (筑波大・生命環境・生物)  
 造網性クモを襲ったコサラグモ類ーその習性はクモ食 (Araneophagy) とみなせるか?ー
- 11:45 O-22 ○佐々木健志<sup>1</sup>・与儀美奈子<sup>2</sup>・下謝名松榮<sup>3</sup> ( <sup>1</sup>琉球大学博物館, <sup>2</sup>[那覇市], <sup>3</sup>[浦添市])  
 沖縄県におけるハイイロゴケグモ (*Latrodectus geometricus*) の生息状況
- 12:00 O-23 ○高木俊<sup>1</sup>・土岐和多瑠<sup>2</sup>・吉岡明良<sup>3</sup> ( <sup>1</sup>兵庫県立人と自然の博物館, <sup>2</sup>京都大学生態学研究センター, <sup>3</sup>国立環境研究所)  
 砂浜生態系に侵入したセアカゴケグモと在来・外来生物との相互作用

12:15 閉会の辞

12:20 閉会